

平成 28 年度上鶴間高校同窓会(鶴麗会)総会議事録

日時 5 月 22 日 日曜日 13:10～15:00

場所 上鶴間高校会議室

出席 同窓会荒木会長 鈴木会計 渡邊監査
教頭先生 担当教諭 2 名
同窓会会員 7 名

委任状 1222 通

不在 543 通

未返信 8831 通

議題

- 1)決算報告と予算編成
- 2)役員選出
- 3)会則修正
- 4)今後

概要

- 1) 今後は書式化を定式とする。総会案内郵送は、原則、今回までとする。今後の告知は HP で行う。前年度の下駄箱贈呈の様な有効的な予算執行を目指す。まなびや基金の役割は、統廃合指定にならなかったことと、県の I・C・T 指定校の設定により、今年度より予算削除。同窓会は卒業時に入会自由の為、会費の増減を想定。
- 2) 荒木会長、鈴木会計は留任。渡邊が監査から副会長に昇格。承認いただく。新たに実行委員として 3 名の生徒会長経験者、その日の晩、新たな監査役として 6 期の卒業生に依頼し、快諾いただく。28 年度、7 名の役員に決定。任期は 2 年。
- 3) 会則の修正。有効的な予算執行の実効性を保つ為に役員全員の協議へて執行できるようにする。役員協議の有効編成を明確化する(会長がいる、いない、会長以外の何人の同意が原則必要かなど)。主語が曖昧な文章は明確化する。
- 4) 同窓会が在校生にできることを常に念頭に。具体的には以下、3 つの視点から。神奈中の増発嘆願の方法を行政、民間双方から模索。行事との連携(学校説明会、鶴麗祭など)。PTA 行事との連携→8 月校内美化清掃、11 月の地域貢献デーで協力できないか調整開始する。行事の中で在校生にとって何が必要かを検討し、50 周年に向けた鶴高を私達は支えていく。

結論 平成 28 年度 第一回役員会 7 月 6 日 6 名の役員より開始 4)の内容を進行させる。

所感

旧くなった校舎や備品を見つめるのは悲しい。現実が必要とされる母校の姿というものもは卒業生の郷愁的存在としてのみではありません。母校は、在校生が今を見つめて、次に羽ばたいていける場となっているかどうかです。それを私達が支えていけるか、どうかではないでしょうか。私達の時間と在校生の今の新しい時間とが同じ校舎で共有出来るかどうか。このことが私達の今のエネルギーに繋がっていくがっていくこととを考え、これからも活動を続けていきたいと思えます。

以上